

1学期もあとわずか！暑さに負けるな！

異例の早さで梅雨が明けましたが、紫陽花がまだまだ美しく咲いています。平素は、聖母の小さな学校の教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、6月28日（土）には、本校の創立30周年記念企画として2020年に始まった「鯖街道を歩く～京は遠ても十八里～」の第9回目を行いました。生徒2名と保護者2名の参加がありました。今までその年どしに在籍する生徒たちで歩き繋ぎ、現在地はようやく京都市花脊峠の手前まで来ました。

この企画のそもそもの発端は、25年程前の生徒たちと「不登校の自分」について話し合っていた時に、どうしても「体を動かす」点で自分たちはダイナミックさに欠ける、というような話が出ました。そこで、夜間ハイクとか、30km鍛錬遠足をしたらどうか、などのアイデアが出る中で、昔の人みたいに「若狭小浜（福井県）から京都までの鯖街道」を歩くのが面白そうだ、やってみようとなりました。では、その当時は①何を履いて歩いたのだろうか？ ②この街道ができたのはいつ？ ③経済の道か、戦国時代の軍用路か など、風俗、経済、歴史と学習が發展しました。そして、一人ひとりがわら草履を作り、それを履いて歩きました。その際、材料の稲わらの種類はどれが適しているか、から始まり、5～6個の工程を全て手仕事とする時間と労力のかかる体験になりました。自分がしっかり時間と労力をかけて作ったわら草履は、上手、下手や見た目を越えて、大切なもの、良いものになりました。6/28（土）は第9回ですが、初めて参加する生徒もおりましたので、改めて鯖街道の起点＝「鯖街道ミュージアム」（小浜）→丹後街道→若狭姫神社→若狭彦神社→神宮寺→鶴の瀬のコースに戻り、若狭国の文化、歴史に触れながら、緑の山々に囲まれた美しい清流に添って歩きました。



6/28「鯖街道を歩く」
＜鯖街道ミュージアム＞



6/28「鯖街道を歩く」
＜お水送りの聖地：鶴の瀬＞

途中、「名門酒井氏の小浜藩は11万石の領地」という教師の解説に対し、生徒からも「石って、どういう意味？」と質問したり、虹色の羽の玉虫を捕まえたり、冷たい清流に足を浸すなど楽しい街道歩きになりました。今後も多くの参加者があることを願っております。

また6月27日（金）の保護者会では、「中学校3年生」の進路について、「学校から進路調査票がきたが、子どもに尋ねても何も言わないで黙ってしまう。どう対応すればよいか分からない。」など、子ども自身も返事を求められて困っている様子も見えました。他の保護者が「今、決めることができない場合、その状態に親も寄り添う。寄り添う、という行動を通して自分の子どもへの理解が一步進む。その一步は子どもが決めることができる方向への一步ではないか。自分の子どもの場合は、中学3年で一校だけ高校の見学に行けた。そして、中学を卒業して1年後に高校へ進学しました。」とご自身の体験を述べられました。

進路を考える時に、目の前の事だけでなく、この子どもの現実を良くとらえ、長期的に社会的自立に向けて、今、何が一番重要なことかを考える必要があるように思います。多くの場合、人に接することができず、引きこもりがちであったり、人が怖かったりします。ゆっくり、足元を見て、そこから出発できるといいと思います。足元を見ること、そして、その自分に親が寄り添ってくれることは、本人の安心につながります。実際、生徒はこういう時、「やってみようと思える」と言います。親子でがんじがらめにならず、経験者や学校へ相談をしてくださることを願います。

今月はまとめの月になります。聖母の小さな学校での面談、また、原籍校との面談を通して、発展的で現実が見え、親子共々、また教師も今を受け入れる意思が育つまとめになるよう願っております。

尚、6月はアシルバク先生がウズベキスタンに帰国中でしたので、本校での授業はありませんでした。7月から再開されます。今月もよろしく願いいたします。

＜今月の主な行事＞

1日（火）・7日（月）・14日（月）ギター教室	16日（水）華道教室
3日（木）・11日（金）数学	17日（木）陶芸教室
9日（水）英会話教室	18日（金）1学期終業式
13日（日）学期末保護者会 13:30～	28日（月）・29日（火）サマーキャンプ